

みんなとともに笑顔いっぱい - 「101」 新たなるステージへ -



みんなとともに



今年度も、保護者の皆様には、大変お世話になりました。この学校だよりも、第51号をもちまして、閉じることにします。「学校のあり方」に様々なご意見があるとは思いますが、本校は「うまくいっている」と考えています。「人間」のすることですから、日々「いろいろ」ありますが「いろいろ」あるからこそ、学校が「学びの場」になるのです。今年度1年間のご支援に感謝申し上げます。



〈令和2年度「本校教育活動」の検証 その7〉

学力向上への取り組みは効果をあげているか (その2)

日々の営みである「ケの日」を大切にしながら「学力の向上」に努めてきました。「標準学力検査 NRT」の結果が届きましたので、「学力」を測る指標の一つとして、その結果をお伝えします。

なお、「学力」には様々な側面があり、その「一側面をとらえたもの」であることをご理解ください。

1 全国と比較して「本校の学力」はどの程度か。 *あくまで「学年平均」の比較です。

	教科総合	国語	算数	+α度
1年	◎+	◎+	◎	・
2年	◎	○	◎	◎
3年	◎+	◎+	◎+	◎+
4年	□	□	□	○
5年	◎+	◎+	◎+	◎
6年	◎	◎	◎	○
全体	◎	◎	◎	◎

【この表の見方】

「学年平均」を全国平均と比較しています。
なお、数値ではなく、記号で表しました。

◇「教科総合」「国語」「算数」について

- 全国平均と ほぼ同じ
- 全国平均より1~3ポイント 上回っている
- ◎ 全国平均より3~5ポイント 上回っている
- ◎+ 全国平均より5ポイント以上 上回っている

◇「+α度(教科-知能)」について

- 持っている力と同程度の学力の発揮
- 持っている力より1~3ポイントの伸び
- ◎ 持っている力より3~5ポイントの伸び
- ◎+ 持っている力より5ポイント以上の伸び

2 個々の「持っている力」を十分に発揮しているか。

	持っている力までの学力を身に付けていない児童 (アンダーアチーバー)			持っている力より高い学力を身に付けている児童 (オーバーアチーバー)		
	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減
2年	1人	・	(+1)	12人	・	(+12)
3年	1人	6人	-5	11人	12人	-1
4年	2人	2人	±0	4人	7人	-3
5年	0人	2人	-2	9人	11人	-2
6年	4人	3人	+1	10人	4人	+6
全体	7人	13人	-6	34人	34人	±0

〈分析〉どの学年も、学年平均で、「持っている力(知能)」よりも高い「学力」を身に付けている(+α度)。個々の「持っている力」と同程度、またそれ以上の学力を身に付けている児童は「95%」になっている。「持っている力までの学力を身に付けていない児童(アンダーアチーバー)」が減少しているのが、大きな成果である。全体的傾向としては、「国語」に伸びの見られる学年が多い。

【校長のつぶやき】 その62 「チーム清明 その3」

では、「チームのメンバーは学校の職員だけなのか」という話である。「子どもの成長」には、学校と家庭が連携して教育にあたるのが大切である。「学校の教育方針」と「家庭の教育方針」の擦り合わせである。同一歩調で教育に当たることができれば、「鬼に金棒」である。そして、「地域の支え」も必要である。

そして、何よりも大切なことは、チームの中心に「子ども(本人)」がいることである。「あなたは、どうしたいの?」「あなたは、どうなりたいの?」「子どもの思い」があって、はじめて「みんなの方向性」が決まる。次年度も「一枚岩」となって、最高の「チーム清明」でありたいと思う。「みんなの笑顔」のために。